

町長あいさつ

扶桑町は、木曾川の恵みを受けた肥沃な土壤に恵まれ、現在も名古屋市のベッドタウンとして繁栄を続けているまちです。

今日のまちの繁栄があるのは、コミュニティや自治会など地域連携の基盤の中で扶桑町で暮らす「みんな」が協力し合いながら、ひとやまちを育ててきた積み重ねがあるからだと思っています。



2008年（平成20年）に策定した第4次扶桑町総合計画では、「つなぐ手と心で咲かす大輪の花（ひまわり）扶桑町」をまちの将来像と定め、お互いに支えあい、地域を守り、受け継いできた伝統を守りながら、豊かな自然に囲まれ、快適に暮らすことができるまちを育ててきました。

全国的に人口減少が進む一方で、扶桑町の人口は現在でも少しずつ増加しています。しかしながら、近い将来には扶桑町でも人口減少が始まると予想されています。このような社会情勢のなかで、これからも「みんな」が誇りと愛着をもち、笑顔で過ごせるまちを実現するため、新しく第5次扶桑町総合計画を策定しました。

第5次総合計画では、「みんなの笑顔が かがやくまち 扶桑町」をまちづくりの視点として掲げています。この新しい計画は、アンケートによる意識調査や「ふそう町民会議」などを通じて多くの町民の皆様と一緒に作り上げてきたものです。今後も多様な手段で連携しながら、よりよいまちづくり、活力あるまちづくりを推進してまいります。

さらに、重点的・優先的に取り組む「リーディングプラン」をはじめとした施策を着実に進め、「直面する人口減少問題の解消」や「住みやすいと感じ、ずっと住み続けたいと思うまちの実現」、そして「出生率の維持・向上」に向け、取り組んでまいります。

最後になりますが、本計画の策定にあたりまして、ご意見・ご提言を賜りましたすべての皆様に心から感謝を申し上げます。

平成30年3月 扶桑町長 千田 勝隆

目次

第1編 計画の策定にあたって	1
(1) 計画策定の趣旨	1
(2) 計画の構成と策定方法	2
(3) 社会をとりまく状況等の変化	4
(4) 扶桑町のすがた	6
(5) まちづくりの意向・課題	15
第2編 基本構想	19
第1章 まちづくりの視点	19
(1) 基本的な考え方	19
(2) 計画フレーム	20
第2章 基本目標（施策の体系図）	22
第3章 土地利用構想	24
(1) 土地利用の方針	25
(2) 地域拠点の方針	26

第3編 基本計画 27

第1章 基本計画のポイント.....	28
第2章 基本計画の読み方と使い方	30
第3章 基本目標.....	33
基本目標1 みんなで“支え合う” ～ほっこり暮らせるまちづくり～	33
基本目標2 みんなで“学び育む” ～次代と豊かな心を育むまちづくり～	47
基本目標3 みんなで“守る” ～思いやりのある安全・安心なまちづくり～.....	61
基本目標4 みんなで“活かす” ～住み続けられる・魅力あるまちづくり～	77
基本目標5 みんなで“創る” ～ともに支える自立した行政経営～	91
第4章 計画の管理と推進にあたって	100

第4編 資料編 102

第1章 計画の策定と経過	102
第2章 各種組織・体制	107
第3章 関連項目一覧	136

※本書に掲載している絵画は、扶桑町内の小中学生が
「思いやり」「つくってみたい未来のまち～これからの扶桑町～」 「“心”～支え合うまち・扶桑町～」
をテーマに描いたものです。